



★★ 男女共同参画情報誌「はーもにーい」No.40 ★★
 令和2年2月発行 ★ 東大和市 市民部 地域振興課
 Tel042(563)2111 ★ fax 042(563)5931
 E-mail : chiikisinko@city.higashiyamato.lg.jp
 ★ 「はーもにーい」に対するご意見・ご感想をお寄せください

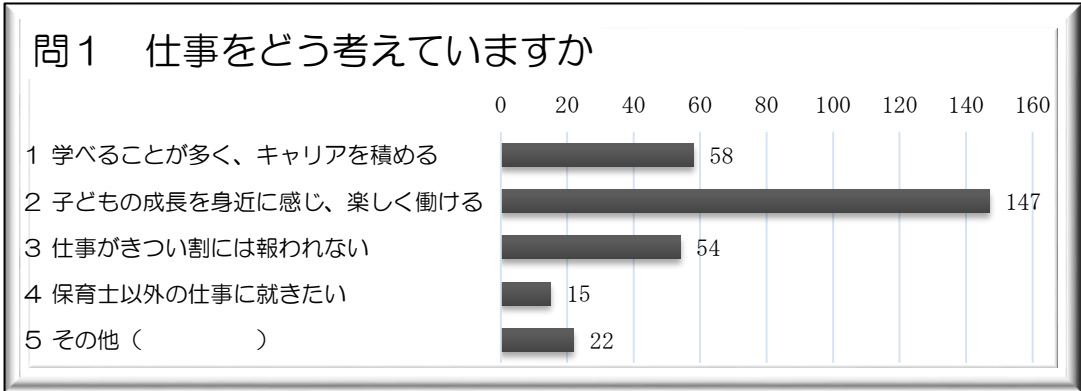
男女共同参画社会とは「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。

数年前、ツイッターから端を発した保育園の待機児童問題は大きな社会問題となりました。それを受け、多くの自治体が待機児童ゼロを目指して保育園の増設をしました。しかしながら、建物はできてもそこで働く保育士が確保できない状態にあります。東大和市は、市長が日本一子育てしやすいまちづくりを宣言しました。

保育士さんの思い ★子どもと夢を育てる★

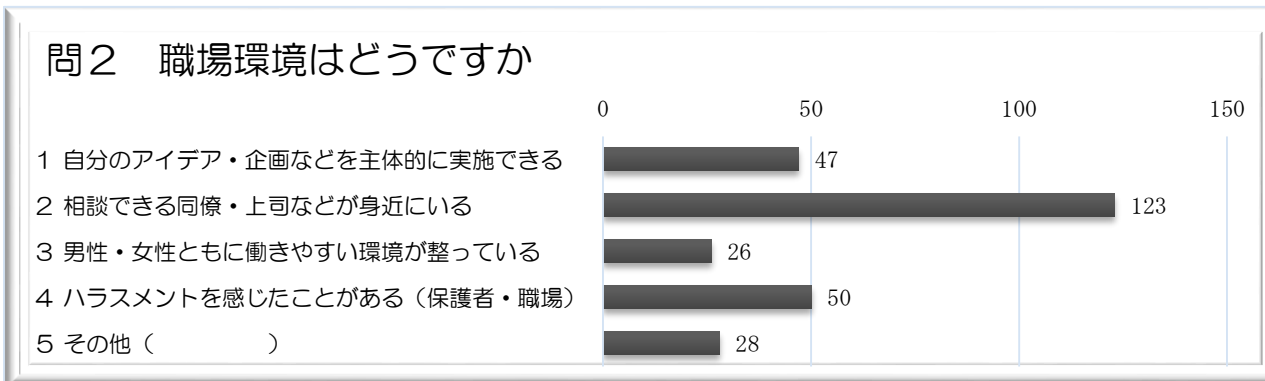
そのような中、保育士の方たちは、「楽しく働いているのか」が気になり、市内私立保育園の保育士の方にアンケートをお願いしました。

今回、16園279名の方にお願ひし、232名の保育士の皆さんから回答がありました。



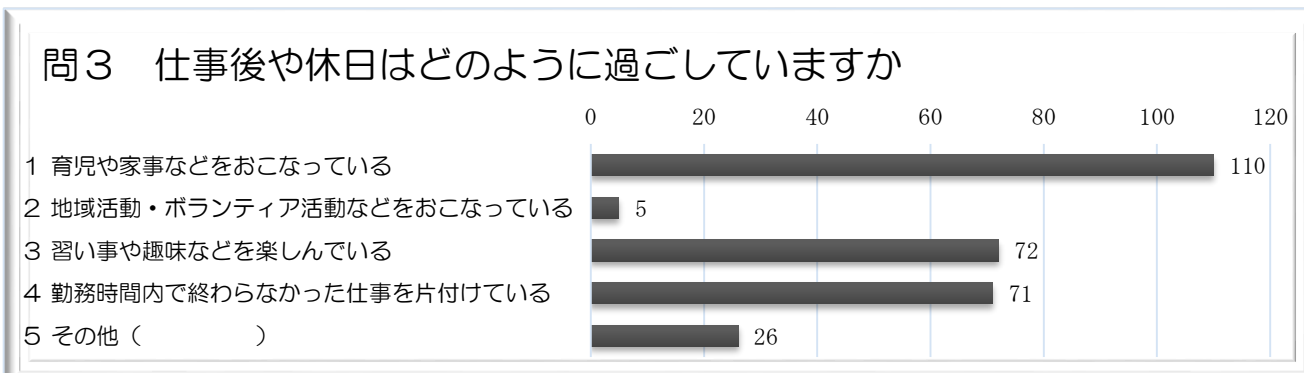
問1-5 その他の意見

- やりがいを感じているが、楽しいことばかりではない。子どもたちの人格形成の時期に関わることにとても責任を感じているが、自分たちだけではがんばれないと感じることも多い
- 子どもの命をあずかる仕事をしている割に給料が低い
- 子どもの成長を身近に感じる ほか 19件



問2-5 その他の意見

- 業務が多い
- ハラスメントはないが働きやすくない。主体的ではない。相談も出来ない。ただただ目の前の仕事をこなしている。個々であってお互い協力できない環境
- 忙し過ぎて学ぶというより、日々追われている ほか 23件



問3-5 その他の意見

- 疲れているため寝ている
- ゆっくり過ごしたり、リフレッシュしている
- 月1で資格の勉強をしている
- 日々充実している
- 育児や家事に追われ、終わらない仕事をしている ほか 21件



アンケートを取ってみて…

毎日忙しい保育士の方にアンケートをお願いするため、設問数は少なくし、回答は選択方式で作成しました。その結果、回収率は83.2%と多くの保育士の皆さんから回答をいただくことができました。

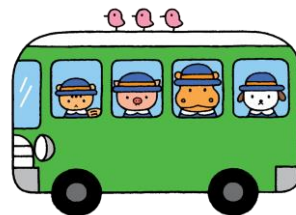
回答をみると、多くの保育士の皆さんは大変ながらもやりがいを感じ同僚にも恵まれ充実した毎日を送っていることがわかりました。その反面、思いのほかその他の意見が多かったことに驚きました。

本来なら保育士同士の意見交換のためにも全て載せたかったのですが、紙面の都合上、割愛させていただきました。

今回、男性保育士の方からもご回答いただきました。女性が多い職種への男性の就業が年々増えてきています。

保育士をはじめ、多くの分野において雇用の男女均等が進んでほしいと思いました。

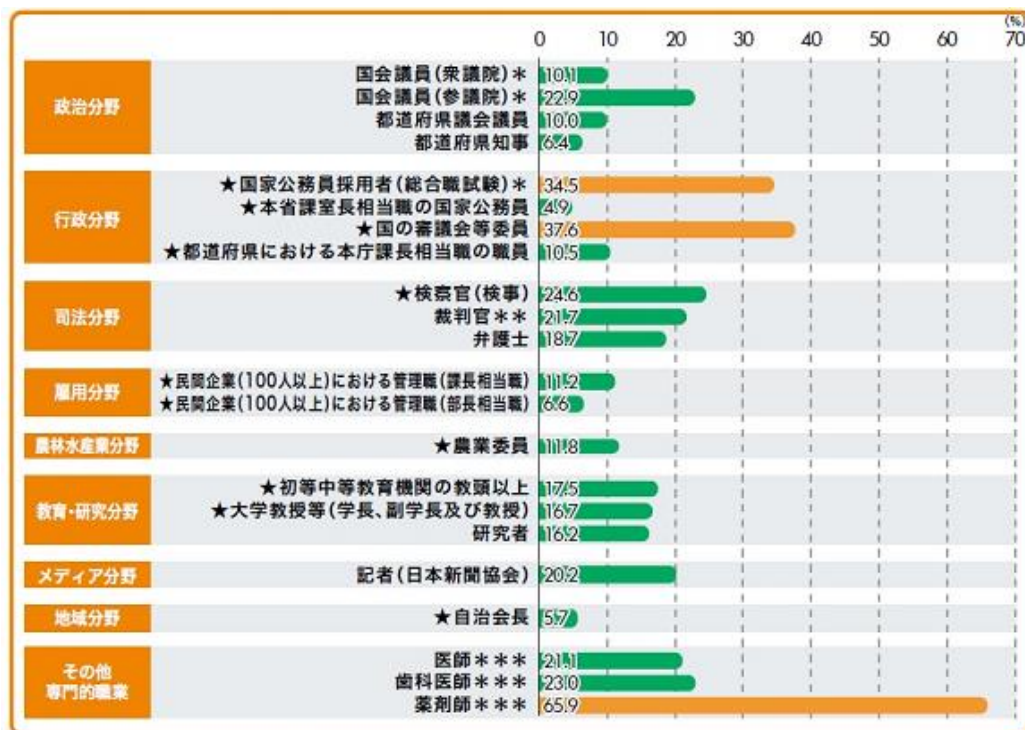
子育てをめぐる環境が変化中、保育士の皆さんが長く働くことのできる環境が整うことが、子どもたちにとってもより良い環境になると思います。



編集後記
 8月に編集委員の募集チラシを見て、隠居の身でありながら応募しました。残念ながらほかに応募がなく、私ひとりと市の担当職員とで作成しました。私としては、若い人達が自分の思うままに生きて欲しいと願うばかりです。(編集委員・とみたあきら) 担当3年目、毎年、編集委員の方の情熱に感服しています。今回も話し合いを重ね作成しました。多くの方に読んでもらえるのが嬉しいです。(Y・S) テーマ決定から紙面作成まで様々な意見を出し合い、話し合い、進めることができました。一つの物事に取り組み中で、多くを学びました。(T・O) からも「はーもにーい」を通して多くの方に情報をお伝えできればと思います。(K・I)

政策・方針決定過程への女性の参画

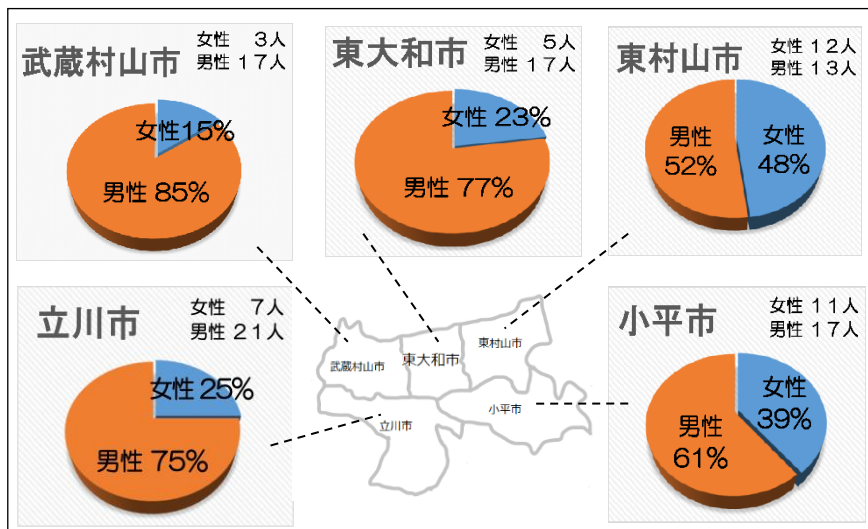
各分野における『指導的地位』に占める女性の割合



出典：内閣府・男女共同参画推進連携会議「ひとりひとりが幸せな社会のために」

※「指導的地位」の定義
 ①議会議員 ②法人・団体等における課長相当職以上の者 ③専門的・技術的な職業のうち特に専門性が高い職業に従事する者

【東大和市・隣接市の市議会議員の男女割合】



編集委員調べ(令和元年5月1日現在)

職の職員は、60人のうち6人で、10%となっています。

「国会議員の男女比」135位、「女性閣僚の比率」139位等となっています。

社会のあらゆる分野における指導的地位(※)に女性が占める割合を高めようとする取組が各分野で進められています。

律が平成30年に施行されました。女性議員の割合は、国会議員が衆議院10.1%、参議院22.9%、都道府県議会議員10%となっています。

◎ジェンダーギャップ指数
 公益財団世界経済フォーラムが令和元年12月に発表した男女格差(ジェンダーギャップ)報告書(2016年度版)で、日本は153か国中121位となり、前年の110位から下がってしまいました。

「ひとりひとりが幸せな社会のために」と、令和元年版データ」によると、日本の状況は依然として低い水準となっています(左表参照)。

政治分野においては、議会議員の選挙で、男女の候補者数をできる限り均等になることを目指す法

これは女性の地位を経済、教育、政治及び保健の4つの分野のデータで算出し指数化したものです。項目別にみると、経済分野では「労働参加率」79位、「同一労働での賃金格差」67位、「収入格差」108位、「管理職ポジションに就いている数の男女差」131位、「専門職や技術職の数の男女差」110位、政治分野では

シール貼りアンケート 「あなたは今、幸せですか」

国連の世界幸福度ランキング2019によると、日本は156か国中58位でした。これは、一人あたりの国内総生産(GDP)、健康寿命、社会的支援、人生選択の自由などをポイント化したものです。

市民の皆さんが日頃どのように感じているのか、市役所で行われた産業祭・男女共同参画に関するパネル展などで、シール貼りアンケートを行いました。

アンケートの結果は、幸せ69票・普通16票・幸せではない18票となりました。男性も女性も幸せを感じる社会が理想で、将来的にもっと幸せを感じる方が多くなると良いですね。

【幸せの理由をご紹介します】

- ・今の自分に家族に毎日に感謝出来ることに幸せ
- ・子どもと3人でいれることが幸せ
- ・毎日楽しいから幸せ！！
- ・結婚した！！幸せです～
- ・皆が健康で仲良くしているから♡
- ・家族皆、元気で自分の時間がたっぷり♡ある
- ・食べ物があって水があって暖かくて雨もしのげるから など



▲人権パネル展でのシール貼りアンケートの様子

今回103人の方にアンケートにご参加いただきました。イベント時も含めたアンケートになり、幸せ票が多かったです。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

※この情報誌は、公募による市民との協働により編集しました。